



【校長より】

祝 卒業

第 74 回卒業証書授与式を 3 月 11 日（金）に実施し、167 名が 120 年を超える歴史と伝統のある東京都立農業高等学校から巣立ちました。

卒業生が 2 年生の時は、感染症予防のため 4 月・5 月が臨時休業になり 6 月から学校を再開しましたが、体育祭や農高祭等の学校行事を中止にしました。3 年生に進級後も修学旅行の中止など予定していた計画を何度も練り直す必要がありました。このような中、体育祭や農高祭を卒業生が中心になって企画等を行い、学年ごとの実施にはなりましたが、本校の歴史を確実に受け継いでくれました。

卒業生の皆さんには、4 月以降も農業高校の学び舎に思いをはせ、母校の一層の発展を見守ってくれることをお願いするとともに、卒業生の輝かしい未来を祈念します。

【進路指導部より】

1 大学・短大進学希望者へ

- ① 大学は研究機関です。自分が究めたいと思う学問を深く追求する場所です！（探究）
- ② 高校を選ぶように受験してはいけません。興味・関心に基づいた選択が必要です！（知的好奇心）
- ③ 高校までの基礎学力が大切です！（勉強）
- ④ 農高で学んだことを進化させるのが一番近道かも知れません！（専門性が重要）
- ⑤ 準備は早めに！（小論文・面接等は特に）

2 就職希望者へ

まずは自分の専門の延長線上の分野をベースにして会社を調べていきましょう。

3 専門学校希望者へ

先方のペースに乗せられず、あせらずじっくり学校を選んでください。

【予餞会について】（今年度は 3 月 11 日に録画ビデオにより開催しました）

昨年度と同様、今年度の予餞会も各クラスの出し物は動画だけとなりましたが、クラス動画には正直驚きました。企画内容が大変凝っているのはもちろん、出演した生徒たちの表情や動き、高度な編集の技術、どれも本当に素晴らしい動画だったからです。卒業生は時に大笑いしたり、時に悲鳴に近い歓声を上げたりで、大いに盛り上がっていました。これも 1～2 年生が卒業生を楽しく送り出そう、という気持ちが、動画を通じて伝わったからだと思います。実行委員会をはじめとして動画制作に関わった皆さん、本当にお疲れ様でした。1 年生の実行委員は会場の雰囲気がかかったと思いますので、来年度の予餞会にいかして欲しいと思います。

最後にサプライズで演奏していただいた 3 学年の担任団の皆さん、動画に協力していただいた多くの先生方、ありがとうございました。

《各学科報告》

【食品科学科】

今年度も、昨年に引き続き新型コロナウイルス感染症予防対策の為、対策をとって行った授業や実習となりました。今年はオンラインでの取り組みを一層充実させることができました。

4月は、茶工場からの製茶のライブ配信を行いました。小型カメラを使用したことにより、俯瞰や機械の内側など普段は見ることができない様子を学習することができました。製造実習や実験も動画による予習・復習を行いより充実した内容で進めることができました。

生徒たちも、「できること」と「できないこと」を考えながらアイデアを出し合い、学年開催となった文化祭を成功させることができました。「できないこと」ではなく、「できること」に注目し来年度からも、授業内容の拡充に努めたいと思います。



蒸した茶葉の冷却



大腸菌群の検出実験



培地の作成

【都市園芸科】

1年生より (入学当初戸惑いもありましたが、今ではしっかり実習に取り組んでいます)

- ①良かったこと 新鮮で美味しい野菜・果物を栽培できる！実習が楽しい！！
- ②驚いたこと 農場がともかく広い！！でも迷うことはない。
- ③都市園芸科の印象 面白い先生が多い。先生達とは話しやすい！！

2年生より (3年生では、野菜・果樹・草花・デザインの中から専攻する分野を1つ選んでより専門的に学習を進めていきます。都市園芸科の中心となり頑張ります)

- ①私達のモットー 都市園芸科で私達は「土」とともに頑張るぞ！！
- ②3年生での希望 地域の方達にも来てもらえる農高祭をやりたい
- ③私達の自慢 他では食べられない、しっとりほくほく甘いサツマイモ♡



11月 農高祭



トマトの管理実習



ニホンナシ出荷調整実習

【食物科】

昨年4月に入学式を無事に迎えてから、1年が経とうとしています。今年度もコロナウイルスに翻弄される日々でした。ですが、1年5組はいつも前向きに行動し、元気を与えてくれました。「予餞会」では、唯一コロナ前の「農高祭」を実現している先輩への餞に「当時の1年5組の企画で作った『ミートパイ』『オニオンスープ』を再現しよう！」と決めました。12月から計画を立て、順調に動画を提出する予定が、学級閉鎖となり、ギリギリとなってしまいました。3学期は2度も学級閉鎖となり、その間も意欲的に学習をし続けました。最後の「人間と社会」の授業はTeamsを活用し、「10年後、社会はどのようなになっていると思うか。またその社会を現実・回避するために、どのようなことが必要だと思うか、自分の意見を投稿する。」という課題に取り組みました。以下、生徒の意見です。



『10年後にはコロナは静まり記憶の片隅に置かれる存在になって段々忘れてしまうと思います。それを回避するためには、今回コロナウイルスという大きな問題にぶつかって、世界中の人々が協力をして解決したことや今後このような感染爆発を防ぐことや一人一人が我慢をすることなど忘れてはいけないことがたくさんあると思います。それを忘れずに、今後このような感染ウイルスがきたときに、各自が迅速に正確な対応をできるようにすることが大切だと思いました。』

【緑地計画科】

3月8日（火）ケヤキプロジェクト

府中第一小学校、府中第一中学校の生徒さんと一緒にケヤキの種まきを行いました。

一小の皆さんに種まきの準備をしてもらいました。



3月14日（月）サクラプロジェクト

本町農場に桜の苗を植えました。

1年生が幹巻きをしています。



3月15日（火）東京農工大学との連携

東京農工大学の吉川正人先生より

「都市の緑と生物多様性の保全」について講演をしていただきました。

生物多様性の定義や府中市内の動植物について大変興味深い内容でした。



【服飾科】



<1年生>

手芸の集大成として、ポーチに刺繍を施しました。1・2学期に学習したフランス刺繍、3学期に学習したビーズ刺繍、スパンコール刺繍を用いて素敵な作品ができあがりしました。



<2年生>

杉野服飾大学より先生をお招きしての特別実習で「リボン刺繍」について教えていただきました。刺繍糸とは勝手が異なり、平たいリボンで刺す刺繍には独特の扱いがありますが、仕上がりがゴージャス！上級生ならではのさまざまな工夫が見られました。

まん延防止措置の解除に伴い、ようやく、校外学習を実施できました。東京ホールセール株式会社にご協力いただき、クリーニング工場の見学に行ってきました。

<感想文より>

- 絶対に普段の生活では見ることができない、クリーニングの裏側の工程を知ることができて、とても良い経験になった。クリーニングに出された衣類1つ1つが丁寧に検品され、キレイに仕上がっていて感動した。
- 洗う物によって洗い方、洗剤、乾燥方法まで違っていて、クリーニングにだすときれいになって返ってくるのは、こういった努力と技術があるからだと感じた。
- 品物それぞれに適した方法で機会を使ったり手作業で行ったりと地道な工程が多いと思いました。着た時のことを想定して撥水加工をするなど、ただ汚れを落とすだけではないことがわかりました。

【今後の予定】

- 3月 25日(金) 修了式
- 3月 26日(土) ~ 4月 5日(火) 春季休業
- 4月 6日(水) 令和4年度 1学期始業式
- 4月 7日(木) 令和4年度 入学式
- 4月 8日(金) 生徒会オリエンテーション